



兵庫教育大学の 「ミッションの再定義」

—昨年6月発表の「大学改革実行プラン」にもとづく国立大学教員養成分野の「ミッションの再定義」が、各大学と文部科学省との意見交換を経て作成され、「国立大学改革プラン」の策定に伴って昨年12月に公表されました。ミッションの再定義は、教職大学院への重点化、実践型のカリキュラムへの転換、学校現場での指導経験のある大学教員の採用増を今後の改革の基本方向として、各大学・学部の有する強みや特色、期待される社会的役割に応じた機能強化を推進するために行われたものです。大学・学部は再定義された各自のミッションに即して改革を進めることとなります。

国立教員養成系大学・学部は、教員養成・現職研修に関する各大学・学部の基本的性格・役割を明示すべく、①地域密着型、②広域拠点型、③大学院（現職教員再教育）重点型の3タイプに分類されました。本学は③タイプに位置づけられました。このことの意義はきわめて大きいと考えるべきです。すべての国立教員養成系大学・学部には修士課程が設置され、近年は新構想大学の特性を有する教職大学院が全国各地に設置される中で、新構想大学は特別視されないという見方も増えています。それが、他教育大学・学部と差別化される形で、改めて新構想大学は現職教員再教育のための大学院重点型の大学であることが再確認されたからです。その中でも特に本学は、教員養成分野のミッションの再定義の全体像を示した国立大学改革プラン参考資料「ミッションの再定義（教員養成）」において、「大学院における現職教員の再教育・研修（管理職研修等）拠点」との表現で特出されました。

再定義された本学のミッションは、本学がすでに自ら作成・公表しているミッション・ビジョンとほぼ軌を一にするといえます。全文は本学のホームページでご覧いただきたいと思いますが、上述の基本的役割の他に、次のような記述を独自性としてあげることができます。

- ▶ 新しいカリキュラムや教育方法を主体的に改善・開発することにより、教員養成・研修の先導的モデルとなる。
- ▶ 学士教育課程（学部）では、本学で開発した「教員養成スタンダード」に基づき「学び続ける力」を具備した新人教員の養成を行う。
- ▶ 教職大学院では、「スーパー校長」、「特別支援教育スーパーバイザー」などの「スーパースクールリーダー」を養成する、よりハイレベルのプログラムを開発・実施する。
- ▶ 修士課程では、より実践的なカリキュラムを整備し、段階的に教職大学院へ移行することにより、修士課程改革の先導的役割を果たす。今後も、教育大学の特性を生かして、スクールカウンセラー等の学校教育分野の心理専門職を養成する。
- ▶ 連合学校教育学研究科（博士課程）では、教育実践学コンピテンシーに基づいて、「教育実践学」を推進し、新しい教員養成教育を担う優れた実践的研究者を養成する。
- ▶ 神戸ハーバーランドキャンパスでは、遠隔講義システム（eラーニング）を運用するなどして、多様な修学ニーズへの一層の対応を図り、社会人の学び直しの場を提供する役割を果たす。
- ▶ 教師教育の実践と研究における全国拠点（ナショナルセンター）並びに地域拠点（リージョナルセンター）となることにより、「教師教育のトップランナー」を目指す。

かじさてつや
学長 加治佐哲也